教科目名　経済学概説（Economics）

学科名・学年　：　全学科　４年　（教育プログラム　第１学年　○科目）
単位数など　：　選択必修　２単位（前期１コマ，後期１コマ，授業時間 46.5 時間）
担当教員　：　高見博之

授業の概要

経済学は，現実の様々な経済問題を体系的に評価する学問です．本講義においては，新聞等に取り上げられる話題を分析できるよう経済学的な考え方を学ぶことを目的とします．公債発行は望ましくないのか，自由貿易を維持すべきか，期限付き商品券は有効か，といった有権者としても重要な問題について，経済学による評価方法を考察していきます．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(A1)，JABEE 目標(a)**

(1) 現実の経済問題について，影響を受ける経済主体と各々の経済主体への影響が理解できる．（定期試験）
(2) 需要曲線・供給曲線を用いた経済分析を理解できる．（定期試験）
(3) 政府の役割と経済政策の効果を理解できる．（定期試験）
(4) 複数の観点から経済問題を評価する方法を理解できる．（定期試験）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	経済学の分析対象	○経済学の基本概念を理解できる．	【理解の度合い】
2	経済学的な考え方	○経済学的な考え方を理解できる．	
3	分業の利益	○分業の重要性を理解できる．	
4	需要と供給	○需要曲線と供給曲線及び，価格の決定方法を理解できる．	
5	価格メカニズム		
6	市場の効率性	○市場の効率性を理解できる．	
7	需要曲線・供給曲線と弾力性	○弾力性の概念を理解できる．	
8	前期中間試験		【試験の点数】　　点
9	前期中間試験の解答と解説 企業の価格設定	○余剰分析を理解できる． ○市場の失敗の原因を理解できる．	【理解の度合い】
10	余剰分析	○市場の失敗の解決策を理解できる．	
11	市場の失敗(1)独占と外部効果	○情報の非対称性が市場に及ぼす効果を理解できる．	
12	市場の失敗(2)公共財		
13	市場の限界	○市場と所得分配の関係を理解できる．	
14	労働市場	○労働市場の状況を理解できる．	
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		
16	GDP とは何か	○GDP の概念と決定要因を理解できる．	【理解の度合い】
17	何が GDP を決めるのか	○消費と投資の決定要因を理解できる．	
18	消費需要と投資需要	○乗数効果を理解できる．	
19	乗数効果	○金融市場の状況を理解できる．	
20	貨幣と金融	○政府の存在意義を理解できる．	
21	政府の役割	○短期の経済政策の効果を理解できる．	
22	マクロ経済政策(1)短期		
23	後期中間試験		【試験の点数】　　点
24	後期中間試験の解答と解説 割引現在価値	○ゲーム理論の考え方を理解できる． ○為替レートの概念を理解できる．	【理解の度合い】
25	ゲーム理論の考え方	○長期の経済政策の考え方を理解できる．	
26	外国貿易と為替レート	○外国貿易が存在する場合の経済政策の効果を理解できる．	
27	マクロ経済政策(2)長期・外国貿易		
28	経済成長と国民生活	○経済成長の考え方を理解できる．	
29	政府の失敗	○政府が失敗する状況を理解できる．	
30	後期期末試験		【試験の点数】　　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	復習の際，教科書や講義ノートは，最低 3 回は読み返すこと．	【総合達成度】
教科書	中谷武・中村保編著『1 からの経済学』碩学舎，2010 年．	
参考図書	必要に応じて講義中に紹介する．	
自学上の注意	講義中に指示する予習・復習の範囲を十分に自学すること．	
関連科目	現代社会，政治・経済．	
総合評価	・達成目標の(1)～(4)について 4 回の試験で評価する． ・総合評価が 60 点以上を合格とする． ・再試験は，総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する．	【総合評価】　　点